ジャズの演奏と被災地支援募金

ニューオーリンズから8人が来日公演

ニューオーリンズからジャズの演奏家5人が来日し、最初の公演が8月18日、鎌倉生涯学習センターで行われた＝写真。

鎌倉の地元アマチュアバンド「タン楢原とナレイオアイランダース」のメンバーらが、鎌倉で本場のジャズの演奏を聴いてもらおうと、06年から始められ、6回目。障がい児者の授産通所施設はまなみの利用者の招待もあった。

メンバーたちは背広、ネクタイ姿。リーダーでクラリネットのトーマス・フィッシャーさんはボーカル女性とともに歌も入れながら、日本語で「つぎは」と、10曲以上の曲を演奏。

アンコールの「聖者の行進」で会場をまわり、東日本大震災の義援金を集めた。

ニューオーリンズは05年のハリケーン・カトリーナで壊滅的な被害を受け、復興途上にある。昨年までその支援の募金だったが、今年は彼らが日本のために役立てることを望んだ。

フィッシャーさんは「自国と同じように、日本でも家々が再建されるには長い過程が必要と思う」と話していた。

募金は昼の部・夜の部合計で22万3千289円集まった。

「なでしこ」の似顔絵も

鶴岡八幡のぼんぼり祭にぎわう

「なでしこ世界一」の文字とサッカー女子日本代表らの似顔絵は土田直敏さん、「大地震に負けちゃイカンぜよ」と坂本龍馬を描いた二階堂正宏さん、「われら宇宙の子」の書は宇宙飛行士の山崎直子さん。

「がんばれ日本」など東日本大震災の復興を祈願するものも目立った。

猛暑の8月7日から9日、鶴岡八幡宮の境内で鎌倉の夏の風物詩・ぼんぼり祭が行われた。鎌倉ゆかりの著名人らの書画が4百点ほどのぼんぼりに仕立てられ、境内を飾った＝写真は松原省吾さん撮影。

1938年(昭和13)に鎌倉の文化に親しんでもらおうと鎌倉在住の名士の協力で始められ、73回目。初日は夏越祭が行われ、茅の輪をくぐる参拝客の姿が多かった。8日は立秋祭、9日は実朝祭で、献茶、献花があり、短歌会も行われた。

夕刻からぼんぼりにろうそくがともされ、暗がりの中に浮かび上がったぼんぼりの風情を楽しむ人が絶えなかった。

ひと

遊行かぶきで脚本、演出を担う

白石　征（しらいし　せい）さん

藤沢市の遊行寺本堂で9月9日から3日間、上演される遊行かぶき「さんせう(山椒)太夫―母恋い地獄めぐり」の脚本、演出を担う。16回目を迎えた、藤沢に根を下ろした文化・芸術活動をめざす「遊行フォーラム」の実行委員。市民演劇グループ「遊行舎」を主宰、現実と冥界を往還する遊行かぶきを上演している。

愛媛県今治市出身。少年時代は時代劇大好き。名監督の作品を見て「男の生き方を学んだ」。外科医の父親の後継ぎはあきらめ、青山学院大学で映画づくり、夜はシナリオ研究所通い。寺山修司と知り合い一緒に実験映画を製作した。以後、現在までずっと寺山さんが絡んでる」と振り返る。

映画の助監督試験に失敗、卒業後は出版社に入る。腰掛のつもりが、寺山作品の出版と芝居の手伝いに追われた。1983年5月、寺山の死去後、母親はつさんの話を聞き書きした自伝「母の簪」を刊行する一方、芝居に取り組む。「若い人相手の編集者の仕事はもう懲えてこない。モノを作る現場でやりたかった」

寺山が病気で苦しむ姿を見かねて、「芝居は泥沼。金もかかるし、大変。書く事に絞って5年、10年長生きした方がいい」とアドバイスしていた。なのに当の本人が芝居の道へ。寺山著書の出版などを通じて交友する元妻の九條今日子さんは「白石さんは私の名アシスタント。突然の転身は寺山も『それ見たことか』と笑っているでしょうよ」と懐かしむ。

出版社退職後、50歳の時、「国へ戻るか」と迷った末、東京に近い藤沢市鵠沼海岸へ転居。フォーラムでは、別れと再生を哀切に語る説経節を育んだ日本の芸能の一つのルーツが時宗の総本山、遊行寺であることに注目。これまで「小栗判官と照手姫―愛の奇蹟」、寺山が舞台化して話題を集めた「しんとく丸」などを上演してきた。

中世芸能の名作「さんせう太夫」は、歌舞伎や浄瑠璃、森鴎外の小説、溝口健二監督の映画などで知られる安寿と厨子王の物語で、昨年のフォーラム15周年記念で初上演。今回はさらに内容を充実させた。本堂は音響がよく、真っ暗で、虫の音すだく外の空間も生かした雰囲気が効果をあげた。寺山の短歌6点に曲をつけてうたわれる。

「生者も死者も共に人生を祝福する『まつりの演劇』を楽しんで欲しい」と願う。71歳。

文・写真　洞口和夫

◆公演のご案内は4面に掲載しています。

被災者や行政の立場で

復興めざし、高校生らが意見交換

高校生のための国際理解講座が、「東日本大震災支援の現場からみる世界の中の日本」の題で、8月10日鎌倉市役所講堂で開かれ、市内の高校生ら約30人が参加した＝写真。

宮城、岩手の被災地で支援活動をしている特定非営利活動法人「ピース・ウイングス・ジャパン」の齋藤雅治さんが講師を務めた。

同団体は、日本を本部に1996年設立し、紛争や災害、貧困などの脅威にさらされている世界21カ国で支援活動を行っている。

齋藤さんはスーダンで井戸を掘るなどの国際協力をしており、中越沖地震やハイチ地震の支援活動の経験もある。

東日本大震災の直後、石巻や気仙沼をヘリコプターで見ており、現地で被災者への生活用品の提供、産業や経済、交通の復興、子どもの支援などを続けている。

齋藤さんの活動報告のあと、生徒たちは避難所や仮設住宅で生活する人、行政、国内外の支援団体など5つのグループに分かれてそれぞれの立場から復興を考える意見をまとめた。

齋藤さんは「復興には最低2年以上、元のようになるには10年かかるかもしれない。機会があれば、現地を見てほしい」と結んだ。

19校38人の小学生議員が質疑

8月5日、かまくら子ども議会

鎌倉市内の市立、国立、私立の19の小学校38人の児童が松尾崇鎌倉市長らと質疑応答する「子ども議会」が8月5日、鎌倉市議会本会議場で開かれた。

未来を担う子どもたちが市議会の模擬体験を通して、行政の役割や市の課題を考え、地方自治の仕組みを学習してもらおうと行われ、11回目。

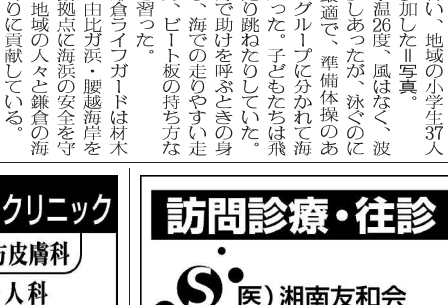
市から市長、副市長、教育長や担当部長ら約30人が出席した。

質問は防災鎌倉無線が聞こえにくいことへの対策、防犯灯を増やしてほしい、緑のカーテンを広めて、大きな公園がほしいなど多岐にわたった。

「今泉の散在ヶ池公園をホタルの時期に夜間開放して」の子ども議員からの要望には市長は「できるか検討する」と回答。

世界遺産登録の質疑もあり、「平成25年度に世界遺産登録されますか」という質問に市長は「私はそうなると思っている」と答えていた。

質問に立つ「子ども議員」



子どもたちが、泳ぎが上手になって安全に海遊びを楽しんでもらえるようにと鎌倉ライフガード（会員約80人、多胡誠代表）が8月上旬の3日間、材木座海岸で小学生を対象に水泳教室を行い、地域の小学生37人が参加した＝写真。

水温26度、風はなく、波は少しあったが、泳ぐのには最適で、準備体操のあと、グループに分かれて海に入った。子どもたちは飛んだり跳ねたりしていた。

海で助けを呼ぶときの身振り、海での走りやすい走り方、ビート板の持ち方などを習った。

鎌倉ライフガードは材木座・由比ガ浜・腰越海岸を活動拠点に海浜の安全を守り、地域の人々と鎌倉の海づくりに貢献している。

鎌倉ライフガードが指導

材木座海岸で～～～～～水泳教室

東慶寺の体験教室
自分さがしと自分みがきに
早朝座禅会
写経会
茶道体験
香道体験
押し花体験
東慶寺
詳しくはホームページをご覧下さい
WWW.tokeiji.com
お問合せ、申込みは東慶寺まで
0467-22-1663

明治37年創立
学校法人　鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電話(0467)25-2100(代表)

ゆみ中医漢方クリニック
漢方婦人科・漢方皮膚科
漢方思春期婦人科
漢方不妊治療婦人科
逗子市小坪1－18－4
TEL／0467-22-9184
http://www5e.biglobe.ne.jp/~yumicyui/
診療時間
午前：　9:00～11:30（火～土）
午後：14:00～16:30（火・木・土）
予約制・各種健保扱・自費診療有

訪問診療・往診
医）湘南友和会
さとうクリニック
認知症対応　在宅リハビリ
在宅医療処置　癌末期管理
在宅看取り　緊急時病院連携
〒247-0061 鎌倉市台5-8-29
TEL 0467-43-5220

漢方診療
外科・内科
●診療時間　午前 9：00～12：00
午後 15：00～18：00
●休　診　日曜・木曜・祝日
水曜午後(定期往診)
鎌倉・常盤の
田中医院
院長 田中迪夫
鎌倉市常盤648 ☎0467(32)1315